

# 探偵小説を作って貰い度い人々

国枝史郎

青空文庫



平林初之輔氏が探偵小説を書いた。書いて貰い度いと久しい前から、思っていた所の人である。処女作などとは思われない程、よく纏まったものである。理智的であつて人情的、よく調和がとれている。多少文章はゴタツイているが、根が評論家のことであり、創作には不慣れと云つて了<sup>しま</sup>えば、そういう難は救われる。のみならず頭のよい同氏のことだ、二度目の作に至つては、そんな欠点も無くなるだろう。

藤井真澄氏を無理にも進め、探偵小説を作らせたものだ。僕に執<sup>と</sup>つては無二の畏友、共同生活をしたこともある。その頃から僕は同氏には、良いことばかり教えられている。同氏は既に「新

魔王」に於て、探偵脚本を書いている。その出来栄も結構である。新魔王の解釈も氏一流だ。ただ其手法に至つては、少しく初期の探偵物に、こだわつてゐるような所がある。

藤井主義は即科学主義である。同氏は科学主義に溺れてゐるともいえる。だが決して溺れ過ぎてはいない。

近代芸術の特色として科学的といふことは無視出来ない。わけでも探偵小説は、そういう要素を多分に持つ。で、科学主義の藤井氏などが、この方面へ鋏を入れることは似つかわしいもののように思われる。だが同氏は何を書くにも、そこへ一理窟見付けないことには容易に筆を執とらうとはしない。しかし同氏は探偵小説には、以前から興味があつた筈である。僕は既に五年程前に、同

氏の口から聞いたように思う。五年間考えたらもう可<sup>よ</sup>かろう。そろそろ執筆して貰いたい。しかし同氏はどつちかというところ、筆不精の方に属している。だから誰か同氏を進め、寧<sup>むし</sup>ろ同氏を鞭撻し、謂<sup>い</sup>得べくんば駆り立てなければ、或<sup>あるい</sup>は筆を執らないかもしれぬい。あのダーウインの進化論と、あのフロイドの精神分析学と、あの日蓮の折伏主義とを、混和させたような同氏の思想が、探偵小説に盛られたなら、新機軸を出すに相違無い。粕江村などに引っ込んで、晴耕雨読していざと、探偵小説を書いて貰い度い。

ウエルシイニンを賞揚した、前田河広一郎氏が筆を呵<sup>か</sup>して、探偵小説を作ったなら、きつと素晴らしいものが出来るだろうと、僕は常に思っている。米国を舞台でも結構である。日本を舞台な

ら尚<sup>なお</sup>結構、あの力強い筆を以て<sup>もつ</sup>、是非最近に作つて貰いたい。同志とも云う可<sup>べ</sup>き平林氏は、既に処女作を發表した。いよいよ今度は前田河氏の番だ。

森下雨村氏が翻訳ばかりせずと、雑誌編集に没頭せずと、探偵小説の創作方面に、是非筆を執つて貰いたい。しかし由来語学堪能で、外国の名作ばかり見ている人は、一種の氣遲れを心に感じ、創作の筆が鈍るものである。或いは同氏も其<sup>その</sup>一人かもしれぬ。しかし小酒井不木氏ありて、翻訳と紹介と創作と、三方面に筆を執り、どの方面でも第一流、殊<sup>こと</sup>には有名な「手術」以後、その創作には光彩を増し、凄惨酷烈な解剖の筆は、殆<sup>ほとん</sup>ど類を見無い程である。

では森下雨村氏と雖もいえど氣遅ればかりを標榜し（或いは然うでは無いかもしれぬが）創作をしないという事は、些いささかか当を得ないようである。

劇に評論に鬚物に、至る処として可ならざる無き、才人伊藤松雄氏などは、もう明日にも筆を執つて、探偵小説を作る可きである。その新鮮な筆触は、探偵小説には好適である。もう病氣も癒なおつたというから、令夫人携帯で戸山ヶ原ばかりを、散歩するにも及ぶまい。と、僕とは従兄弟だけにエグイ事も云つて置く。勉強なさい勉強なさい。正岡蓉氏の軽快文学を、僕は非常に好きである。非常に非常に好きである。同氏がああいう筆法を以て、探偵小説を作つたなら、一特色をな為すに違いない。米田華舫氏の軽快

文学も、僕は非常に好きである。一味支那趣味の雑ましつたあたり、誠に捨て難いものがある。あの筆法で探偵物を書いたら、是こ又また一特色をなすだろう。日本探偵小説界の、伯樂の長たる森下氏が、既成文壇の人達へ、依頼するのも結構であるが、斯こういう人達へ懇懇して、探偵小説を作らせたなら、更さらに一層結構かもしれぬ。勿論「探偵趣味」同人諸兄が、この人達に着目し、無理にも進めて作らせることは、僕の切なる願ひである。



# 青空文庫情報

底本：「国枝史郎探偵小説全集 全一卷」作品社

2005（平成17）年9月15日第1刷発行

底本の親本：「探偵趣味」

1926（大正15）年1月

初出：「探偵趣味」

1926（大正15）年1月

※底本は、物を数える際や地名などに用いる「ケ」（区点番号5-86）を、大振りにつくっています。

入力：門田裕志

校正：きゆうり

2019年2月22日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<https://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 探偵小説を作って貰い度い人々

国枝史郎

2020年 7月13日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>